

北海道新

シニア

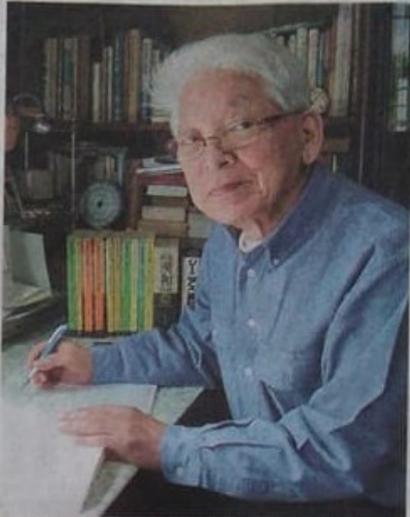
放送大学 充実の学び



中根さん 広がる視野 同窓生と交流の輪

これまでの卒業証書を手にも、学ぶことの効用を語る中根恵美子さん

これまでに取得した単位は260単位。森川さんは「現在の情報コースを終えた後、90歳まで生き、残る『社会と産業コース』を卒業したい。これで現行の6コースをすべて卒業できます」



森川さん 90歳までに全コース修了目標

6コースの卒業を目指し、学習に励む森川治郎さん

高卒だった札幌市白石区の森川治郎さん(78)はリタイア後の2006年、放送大学に入学した。まず在職時の仕事と関連があった「産業と技術専攻(現在の「情報コース」を卒業した後、「心理と教育コース」などにも挑戦し、現在は「情報コース」に在籍。情報化社会、メディア論、日常生活のデジタルメディアなどを学習している。

最初の産業と技術専攻では外国語の単位として韓国語を履修したが、半年が学習期限の試験は不合格。次の半年に再挑戦し、ようやく合格した。「今の情報コースの授業には、カタカナ用語がひんぱんに使われ、難攻しています」と苦勞を語る。一方で「半年ごとの単位認定試験で緊張感を保ち、北海道学習センター(札幌)で行われる面接授業(スクーリング)でのディスカッションで、若い人の意見も聞いて刺激になりました」と振り返る。

これまでに取得した単位は260単位。森川さんは「現在の情報コースを終えた後、90歳まで生き、残る『社会と産業コース』を卒業したい。これで現行の6コースをすべて卒業できます」

と意欲を語る。妻の百合子さん(77)も09年から放送大学で学び4コースを卒業、今は「自然と環境コース」で勉強している。

札幌市西区の中根恵美子さん(70)は高卒後に働きながら、東京の私立大学の通信課程で学んできたが、スクーリングに通うことができず卒業は断念。01年に放送大学の「社会と経済専攻」に入り直し、政治、経済、法律などを勉強し卒業。その後「産業と技術専攻」「自然と環境コース」も終えた。

現在は「人間と文化コース」に在籍し、博物館に関する知識や文化、芸術、歴史などを学んでいる。

中根さんは「各分野のトップレベルの先生たちの考えていることが学べるのが大きな利点。学ぶことは視野を広げ、いわば心の『窓』を開くことだと感じます」と語る。マスメディアについての勉強も、最近の新型コロナウイルスの情報は多角的にとらえる姿勢が身に付いたという。

中根さんは放送大学の道内の卒業、修了生でつくる北海道同窓会の会長を7年務めた後、現在は副会長。会報などの発行や研究発表会、文化祭などを通じて学ぶ仲間たちの交流の輪を広げている。

北海道新聞朝刊 2020.05.21

- まだ70歳。取りあえず生活と福祉コースの修了が目標です。いつ修了するんか未定です😅。森川さんの目標までにはあと20年あります。頑張りましょう(笑)。
- 還暦なんて、まだまだ子どもだわあ～～(^_^;) 頑張らねば!
- 気を引き締めるのね。さすがだわ。付いていきますと言いたいところだけど、楽しみにしていた面接授業が無くなったからモチベーション下がり気味。良い刺激ありがとう(^^)